

H 1 6 . 3 . 1 8 設楽ダム猛禽類検討会 議事概要

日 時：平成16年3月18日(木) 13時30分～16時00分

議事概要：

表 H 1 6 . 3 . 1 8 設楽ダム猛禽類検討会の議事概要

議事項目	議事内容	委員の主な意見	意見に対する回答
1. 調査結果概要について	・調査結果概要について報告した。	・クマタカのハンティング時間は早いというデータ、林内で主にハンティングするという情報がある。そもそもハンティングをおさえられるのかどうか。ハンティング行動を把握するための調査を実施すべきではないか。	・事務局：今後、CCDカメラを設置することができれば、より詳細な解析につながるのではないかと期待している。 ・委員：このような解析でいい結果が出れば有効であると思う。
		・定量的な解析をしようという試みの方向性は評価できる。	・事務局：特になし
2. 生息環境解析結果について	・生息環境解析結果について説明した。	・クマタカのハンティングデータに対して250mメッシュサイズは適当か。クマタカのハンティングは、もっとミクロな環境に依存しているという気がする。	・事務局：メッシュ内の植生比率等で相関をとっており、ある程度は小さな環境も反映できる。ただしメッシュサイズについては検討する。
		・生息環境解析は1回で結論が得られるものではない。継続して実施されたい。	・事務局：データの蓄積、新たな知見の集積により再度実施したい。
3. 現状の課題・今後の方針について	・現状の課題及び今後の課題について説明した。	・観察時間のない部分をコアエリアに入れるのは適当でない。	・事務局：観察0時間の部分はコアエリアに入れない。
		・つがいごとの個性を把握する必要があると思う。そのためにはCCDカメラをやることに賛成である。	・事務局：特になし
		・カメラと騒音計を一緒に設置できないか。	・事務局：可能であり、事例もある。
		・騒音とクマタカの関係が分かれば保全に有効と思う。工事実施のモニタリングとして有効である。	・事務局：営巣地が変わると無駄な投資になることも想定されるので当初は巣にカメラと谷までのケーブルだけを設置しておき、その巣を使用しそうなら電源までのケーブルを設置するというを考えている。
		・ダム工事以外の影響要因(林道施工など)に今後も対処してもらえるか。	・事務局：一度関係諸機関に集まってもらって委員長から話をしてもらった。開発行為は連絡してもらおうことにしている。必要に応じて委員に相談したい。